

副院長就任あいさつ



副院長 水上 博喜

この度、横浜鶴ヶ峰病院副院長に就任しました。1996年に昭和大学医学部を卒業し、消化器外科、肝胆膵外科を専門で診療に携わっておりました。当院には、2017年2月より着任し、腹腔鏡外科、消化器内視鏡検査を中心に、外科一般を担当しています。ランニングを趣味にしようと頑張っています。

就任時の挨拶には、その病院の理念を書くことがよくあります。理念は、いつの時代でも、価値観や判断基準の心のよりどころになり、今一度立ち止まり、決意を新たにするためです。

当院は、◆患者さま一人一人の生命を尊重し、人間としての尊厳と権利を守ります。◆地域との連携を図り、地域住民のための包括的医療(保健・医療・福祉)を実践します。◆医療人としての自覚と誇りを持ち、「不断前進」の精神で創造的な前進と改革を進めます。の3つの理念があります。昨今の新型コロナウイルス感染症の広がりなど、急激な社会や医療の変化があるときこそ、理念に立ち返り、臨床の現場に立っていきたいと思います。

外科診療の他に、感染対策委員会委員長の命もうけております。現在、入館時のサーモグラフィによる体温測定、職員の医療環境に即した予防策の着用、飛沫防止アクリル板やフィルムの設置、待合室でのソーシャルディスタンスの確保、医療機器やソファなどの清拭の徹底、発熱患者さまの別棟での診療、入院患者さまの面会制限などの対応を行っております。

私達も初めての経験が多く、コミュニケーションの低下、診療待ち時間の延長など、患者さまの不安や不信を招く可能性があります。当院の理念を踏まえて、より一層、患者さまの気持ちに立った振る舞いが出るように、職員との話し合いをもうけております。また、患者さまや医師の表情が確認出来るように、タブレット端末を使用したオンライン診療やオンライン面会等を実践しています。

日々刻々と変化する社会情勢に即し、地域の方々が、万が一の時に安心して医療を受け、穏やかな日常生活を送ることが出来るよう、頼れる病院づくりを目指し、全力を尽くす所存です。

9月



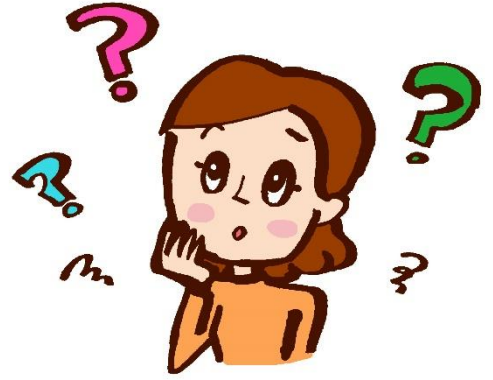
外来医師休診情報

診療科	医師名	休診日
眼科	藤本医師	9月19日(土)・23日(水)
循環器科	齋藤医師	9月23日(水)
内科	島田(佳)医師	9月23日(水)
内科	阿部医師	9月24日(木)~26日(土)
内科	島田(佳)医師	9月26日(土)

『認知症検査入院』のご案内

『認知症』は年々増加しており、高齢化社会において認知症の早期診断、早期治療が求められています。

最近、物忘れが気になる、言っていたことが急におかしくなる、性格が最近変わったなど、ご家族で気になることはありませんか。短期入院で認知症かどうか、検査入院をしてみてもいいでしょうか。



【 検査内容 】

脳MRI(MRA)、認知症テスト(MMSE, Moca-J)、臨床心理士面談
脳波(必要に応じて)、頸動脈超音波、認知症一般採血

【 日程 】

2泊3日で行います。(患者様の具合により日程は変更可能です)

【 注意事項 】

普段使用されている治療薬がございましたら必ず持参してください。また御希望に応じ他の検査も追加が可能ですのでご相談ください。

【 ご相談・お問い合わせは 】 地域医療連携室へ

介護療養型医療施設 空床状況のご案内

(令和2年9月1日現在) 入所待機者 0名

家族面談待ち 2名

※現在、新型コロナウイルス対策の為、介護療養施設入所にあたりましては、一旦一般病棟で数日経過観察後の入所案内としていますので、ご理解とご了承のほど宜しくお願いいたします。

お問い合わせは 地域医療連携室へ

編集後記／池住

身体抑制について、知り合いの先生や看護師さんから、やりたくないけど抑制はせざるを得ないという話をよく聞きます。病院は治療優先だから？ 高齢者社会となり、昔と比較すると入院患者も高齢者が多く、軽度の意識障害のせん妄を合併しやすいため、身体の危険性が高まるというのが理由のようです。これが病院では「医療安全上の問題」と認識され、身体拘束は容認、結果的に実施率が高いのかも。しかし、なぜ介護施設は原則禁止なのでしょう。抱えてる問題は、介護施設でも同じだと思うけど、人権侵害と医療安全、どちらを優先するかによって身体抑制の基準が変わるなんて複雑です。世界と比較しても抑制率が高いのはこれが理由なのかも。